

こんにちは!

あかちゃん



コモンマーモセットの「ゆば」と「とうふ」(4月27日)

3月20日にさるっこの森で2頭の赤ちゃんが生まれました。イツキとモモの間にはたくさんの子どもがいますが、今回も家族みんなで協力して子育てしています。



ビーバーの「チャル」と「チャト」(7月15日)

5月31日に生まれました。こちらも12年ぶりの繁殖です。お母さんの「チャチャ」が屋外展示場の小屋で出産し、子どもが小屋からプールに落ちてしまうハプニングがありました。幸いすぐに救出し、屋内展示場にチャチャと子どもを戻して様子を見ていたところ、2頭目も無事に生まれました。

1月以降に大森山で生まれた
赤ちゃんをご紹介します。



キヨンの「サツキ」(6月5日)

5月12日に生まれました。大森山では12年ぶりの繁殖です。親も小さいのですが、さらに小さい子どもは「サツキ」と名付けられ、元気に成長しています。



誕生直後のキリンの赤ちゃん(7月14日)

7月14日に当園で13年ぶりとなるキリンの子どもが誕生しました。お母さんの「リンリン」は15歳で初めてのお産だったため、あらゆる事態を想定してキリン担当と獣医師で準備を進めました。びっくりするくらいの安産でしたが、リンリンが授乳などを行わなかったため、その日のうちに人工哺育を始めました。順調に育成中です。

このほか、ワオキツネザル、ニホンザル、シロフクロウ、アカカンガルーに赤ちゃんが生まれています。

よろしくね!
仲間入りした
動物たち



ミーアキャット

1月27日に伊豆シャボテン動物公園からオスの「ライラ」がお嬢さんとして来園しました。検疫とお見合いが終わり、同居させるときは元からいたメス2頭との間で闘争が起きるのではと少し心配しましたが、すぐに受け入れられたようです。かわいい赤ちゃんが見られるといいですね。

元気でね!

大森山を後にした動物たち



ヒロシ



月

アムールトラ

2011年に来園したアムールトラの「ヒロシ」が6月30日にとくしま動物園へ、昨年生まれた4つ子のうちの1頭、メスの「月」が6月22日にいしかわ動物園へ旅立ちました。希少種アムールトラの管理計画に基づくものです。2頭とも元気でね。



塩曳湯を泳ぐ元気

トナカイ

トナカイの「元気」が6月19日に長野県の須坂市動物園へ旅立ちました。元気は2016年に当園で生まれました。生まれてすぐは弱々しく介添えして母乳を飲ませたり、粉ミルクを飲ませたりしましたが、順調に成長し、母親と一緒に園内の池「塩曳湯」で泳ぐなど立派なおすになりました。須坂での繁殖が期待されます。

飼育動物数 2020年6月末現在

哺乳類	51種	363点
鳥類	26種	153点
爬虫類	12種	24点
両生類	3種	5点
魚類	3種	29点
無脊椎	1種	23点
合計	96種	597点

このほか、タンチョウの「鶴太郎」とコモンマーモセットの「こめこ」が他の動物園に旅立ちました。

訃報

忘れないよ...



トナカイ

雁来(かりき) (5月27日死亡)

2014年に釧路市動物園から来園しました。春先妊娠していることがわかり、5月26日に破水しましたが、子どもが出てくる気配がなかったため、動物病院で帝王切開の手術を行いました。子どもは既に力尽きていたため雁来だけでも助けようと獣医師と担当が頑張りましたが、残念ながら翌日亡くなりました。



ミニブタ

トン吉(1月28日死亡)

トン吉は2006年にトン平と共に2か月齢で来園しました。トレーニングで、お座りやお散歩などをして、たくさんのお客様から愛されました。昨年11月から食欲が低下し、いろいろと治療をしましたが、残念ながら亡くなりました。

この他、ワピチ、シフゾウ、フンボルトペンギン、ワオキツネザル等が死亡しています。